



全日本少年少女武道（剣道）錬成大会

発行日

18.8.16

第 443 号

会員数 185 名

武蔵台剣友会



武道館特集号①



明治150年記念 平成30年度 全日本少年少女武道錬成大会

合気道 7月15日 弓道 7月16日 剣道 7月21日、22日 空手道 7月28日 柔道 7月29日 銃剣道 8月1日 少林寺拳法 8月4日 なぎなた 8月5日
主催：全日本武連盟 全日本柔道連盟 全日本剣道連盟 全日本弓道連盟 全日本空手道連盟 全合気会 全少林寺拳法連盟 全日本なぎなた連盟 全日本銃剣道連盟 後援：スポーツ庁 日本武道館協会



平成30年7月21日（土）に日本武道館にて第53回全日本少年少女武道錬成大会が行われました。本大会は参加人数もそうですが、事前に強化練習を行うなど独特な雰囲気を感じており、参加した21日（1日目）の試合は490チームが16会場に分かれて試合を行いました。

当剣友会の試合結果は残念ながら初戦敗退でしたが、猛暑の中、脱落せずに稽古に励んだ経験は無駄にはなっていないと思います。このような経験を積んだ子供たちには、これからのいろいろな場面で努力したことを生かしてもらいたいと思います。

本大会を振り返り、全メンバーに武道館の感想を聞きましたので、記載したいと思います。

【試合結果】

武蔵台剣友会		夢心会A	
先鋒 橋本	0	3 苅部龍	
次鋒 中村	1	2 小林	
中堅 佐久間	0	3 福井	
副将 田口	0	3 苅部心	
大将 日高	1	2 近藤	

※対戦相手の夢心会Aは
3回戦進出

剣友会だより

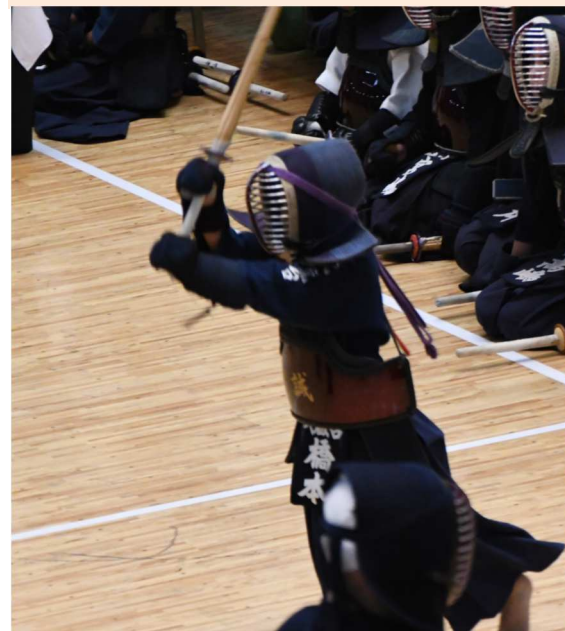
発行日
18.8.16
第 443 号
会員数 185 名
武蔵台剣友会



武道館特集号②

先鋒 橋本案里

僕は初めて武道館にでて、今までに経験のない試合だと思いました。
それは、選手が多くて、対戦相手は強く、試合会場がとてもせまい事などでした。
結果は負けてしまいましたが、とてもいい経験になりました。
来年は、勝てるように頑張りたいです。



次鋒 中村瑞貴

私は、初めての武道館で、前に出た戸田の大会よりも大勢の人がいたので、とてもきんちょうしていました。練習では、原本先生や田口先生にいろいろな教えてもらったので、その教えてもらったことを生かして、いい結果を出したいと思っていました。また、私は次鋒だったのですが同じ三十七期生・五年生のたくとが補欠だったので、拓翔の分もがんばろうと思いました。しかし、長い開会式やら準備体そうやらなんやらで、私は押しつぶされそうになりましたが、なんとか保ち続けることができました。そして、試合が始まりました。私の番になって、そんきよをしている時、「今までよりもいいえんぶにしよう」と思いました。そして結果は、私の方に一本だけですが、旗が上がりました。その時は、とてもうれしかったです。日高さんにも一本旗が上がった時には、「やっぱりすごいな」と思いました。試合の方は、一番でやられてしまいました。とてもくやしかったです。来年は、えんぶで旗が二本以上上がるようにするということと、試合に勝つということを目指して頑張りたいです。





発行日
18.8.16
第 443 号
会員数 185 名
武蔵台剣友会



武道館特集号③

中堅 佐久間駿

武道館の感想

ぼくは、今年武道館であった剣道の大会に出ました。ぼくは去年も出ましたが、今年は、去年より自分ではきつかったけど、最後までやりとげた気がします。し合のけっかまけてしまいました。最後までやりとげてよかったです。



副将 田口隼耶人

武道館の感想

結果は一回戦で負けたけど、全力でやれてよかったです。大会前日に、熱を出して、当日に、直せてよかったです。練習では基本打ち返し技をやりました。他にもえんぶやかかりげいこもやりました。大会のえんぶで、点は取れなかったけど、思いっきりできて、よかったなと思います。





発行日
18.8.16
第 443 号
会員数 185 名
武蔵台剣友会



武道館特集号④

大将 日高実莉

武道館の試合、練習が終わって、今年は6年生だったので、最後の試合で4年生と5年生の時よりも精一ぱいがなりました。練習は、たいへんで、本番に近づいてくると、本番の練習をたくさんやるのできつかったけど、本番にやくだったと思います。本番はいいこのせいかを十分にらせてよかったです。自分は1本はたを上げられたけれど、負けてしまって、チームも負けてしまったけど、試合が終わったあとは、スッキリした気持ちで精一ぱいできてよかったと思います。もう来年は、試合にはでれないけれど、おうえんに行きたいと思います。来年出る選手はがんばってほしいです。



小林拓翔

武道館の感想

ぼくは、ほけつでした。そして武道館の日はどきどきしました。「もしかしたら出れるかも」と、そしてしあいがはじまりました。みんなしんけんに、やったけど、はたがあらなくて、がっかりでした。全員がおわったら、「よかったよ」といってかんきやくせきにいったら、ぼくは「なんでほけつなんだろうと」、くやしくてたまりませんでした。でも必しにおうえんしてかつことを何回もいっていました。でもまけてしまってたやしかったです。でもこんど、ぼくがでて、みんなの分がなばりゆうしようしたいと思います。ぼくが出るのはあと1回だけれど、その1回を見のがさずかちたいです。



剣友会だより

原本先生からの贈る言葉

原本先生より選手への贈る言葉を頂きました。

贈る言葉

明治百五十年記念の全国少年少女剣道錬成大会に監督として参加できたのは、大変名誉なことと感じています。

今夏の大会は、連日の酷暑の中での稽古となり、指導している立場でも集中力の継続も難しく、子供たちが可哀そうに感じました。

ただ、幸いに熱中症などの事故等ありませんでしたが、担当する私自身が不徳の致す事故に遭い田口先生に大変ご迷惑をお掛けしたこと猛省しています。

さて、今回の稽古では基本打ちは本より、試合でも旗が上がるような稽古を意識しました。

昨年までの大会のビデオを拝見していると、対戦している相手の初立ちは素早い面での攻めが多く見受けられました。当剣友会の場合、初打ちは小手が多く、その上を面で乗られて敗戦している試合が多いと感じています。そこを克服するために素早い面の稽古をかなりの時間費やしました。本大会では、試合こそ負けましたが、日高実莉を筆頭に何人かの選手の初立ちが面の攻めで、明日に続く剣道ができたと感じています。

先鋒 橋本案里…動きが俊敏で、攻めの姿勢が表に出ていて正に先鋒タイプだと感じます。ただ、まだ右手で竹刀を振っているので、技に伸びがありません。左手中心の打突を心がけ、背筋を伸ばした凛とした姿勢での剣道が続ければ、先鋒タイプとして伸びると思います。

次鋒 中村瑞貴…身長割には打ちが小さく、踏み込み幅も狭く感じます。基本の面打ちを中心に数多く打ち込みを繰り返し、早く抜けて打突後も技を伸ばしていけば、大成できると思います。ただ、二年目なので今回は上出来だったと思います。

中堅 佐久間駿…右手で竹刀を振っており、併せて打突の瞬間に一度止まる癖が抜け切れていません。左手を上から持つての素振りを毎日繰り返し、左手中心での面打ち稽古を続けることを期待します。継続できれば、きつといい成績が残せると思います。

発行日

18.8.16

第 443 号

会員数 185 名

武蔵台剣友会



武道館特集号⑤



発行日
18.8.16
第 443 号
会員数 185 名
武蔵台剣友会



武道館特集号⑥

副将 田口隼耶人…同様に右手で竹刀を振っており、打突に伸びを感じません。右に引いて打っている
ので遅れて竹刀が出てくるため、恵まれた体型なのに勿体なく思います。左手中心を意識して、背筋を
伸ばした打突を心がければ、素晴らしい剣道ができると思います。

大将 日高実莉…基本はとても良くできていて、範となる存在だと思います。今大会、最上級生一人
でチームをけん引してくれたことに感謝しています。試合でも、前述の通り素早い面を出し、
稽古の成果が出ていたと思います。ただ、気迫を表に出した剣道を中学に行っても続けることを期待し
ます。

補欠 小林拓翔…剣道に負けず嫌いな性格が出ており、常に攻める姿勢が見受けられます。身体が小さ
い分、早い技を出すために早素振りや遠間からの打ち込み練習を繰り返すと、大柄な選手にも負けない
剣道ができると思います。来年は、武蔵台の中心としてチームを引っ張っていければ、きっといい成績
が残せると思います。

何れにしても、残された後輩たちは、再度基本を意識した稽古を心がけ、休まず継続して下さい。みん
なで継続の輪を作れば、来年の大会は上位進出も夢ではないと思います。



剣友会だより

縁の下の力持ち

武道館の大会に臨むうえで、毎年良い席で試合を観戦できるのは、陰ながら努力を行っていた方々のおかげです。今回節目を迎え、長いことこのような活動を繰り返していた日高さんに今までの活動を振り返って頂きました。

武道館錬成会について 日高 久史

日高家としては、長男諒久、長女彩乃、次女実莉の三人の子供達が参加した、日本武道館での錬成会が今年で終了しました。

少しほっとしている様な、少しさみしい様な不思議な感じです。

日高家としては、たくさんのいい経験、思い出となる大イベントでした。すごく長いお祭りがようやく終わりを迎えた様な感じです。

合計8年間武道館に関わってきました。

5年連続(諒久、彩乃) 1年休み、3年連続(実莉)でした。

先生方、各歴代の監督の先生、父母の皆さん大変お世話になりました。

諒久は、四年生、原本先生、五年生、川崎先生、六年生、小池先生が監督。

彩乃は、五年生、六年生ともに小池先生が監督。

実莉は、四年生、三田先生、五年生、六年生、原本先生が監督。

本当に多くの先生方に監督をして頂きありがとうございました。

毎年ドラマがありました。自分の子供だけでなく、まわりの子供達にも大きなドラマがありました。稽古中に悔しくて涙が止まらなかった子、試合後悔し涙を流した子、先に入会した仲間になんとか追いつこうと必死な子、苦しい稽古の中、必死な姿に感動をしました。

各ご家庭にも様々なドラマや思いがあり、慰労会時に、お父さん、お母さん様々な方の涙を見ました。いろいろな思いが詰まっている大会だと思いました。

試合はその時々、いい時、残念な時、いろいろでした。

試合結果は当たり前ですが、いい方がいいですが、監督の先生の思い、子供達の頑張り、ご家庭の頑張りが一つになった時に最大の感動を感じました。

監督、子供達、ご家庭ともに、約3カ月間大変な思いをしますが、仕事を調整、休みを調整して稽古指導をして頂ける監督、稽古が多くなり、きつくなっても頑張っている子供達、送り迎え、大会までの準備で頑張っているお母さん達、それぞれの困難を乗り越えていき、一つの目標に向かっていく事が素晴らしい事だと思います。



武道館特集号⑦

発行日
18.8.16
第443号
会員数185名
武蔵台剣友会

おとし 剣友会だより

発行日
18.8.16
第 443 号
会員数 185 名
武蔵台剣友会



武道館特集号⑧

諒久が最初に参加させて頂いた年に、当時の父母会会長の真鍋さんに武道館の場所取りについてお願いがありました。なんとなく初めて、計8年間皆勤で武道館前泊場所取りをさせてもらいました。道路の上で仮眠を取るの基本的には辛いですが、一緒に前泊をして頂いたお父さん達といろいろな話をしたり、他の団体の方と話をしたりするのが非常に楽しかったです。

監督、子供達、ご家庭、みんな頑張ったので、いい場所で、みんなで応援をしたいという思いで続けてきました。少しだけですが、やりきった達成感があります。

一緒に前泊して頂いたお父さん達ありがとうございます！！

今年も無事に武道館が終わりました。最後に今年だけ振り返ります。

実莉は最後の武道館、やはり特別な思いだった様です。

稽古は辛く、休みたいはずなのに、キャプテンという責任も感じている様でした。

学年、経験にばらつきがありました。今年の異常な暑さの中、子供達は必死に頑張りました。

6人がほとんど面をとる事無く、原本先生、田口先生の厳しい稽古についていってました。

武道館稽古前はあまり出来なかった子も見違える位上達しました。

実莉含めてまだまだなところがたくさんあると思いますが、武道館稽古の後のこれからの稽古が大事だと思います。なるべく稽古を休まず、暑い、寒い、痛い、理不尽な剣道を通してみんな立派な大人になって欲しいなと思います。

武道館、日々の稽古を通して子供達の中に目には見えない何か柱のような物が作られていく様な気がしています。

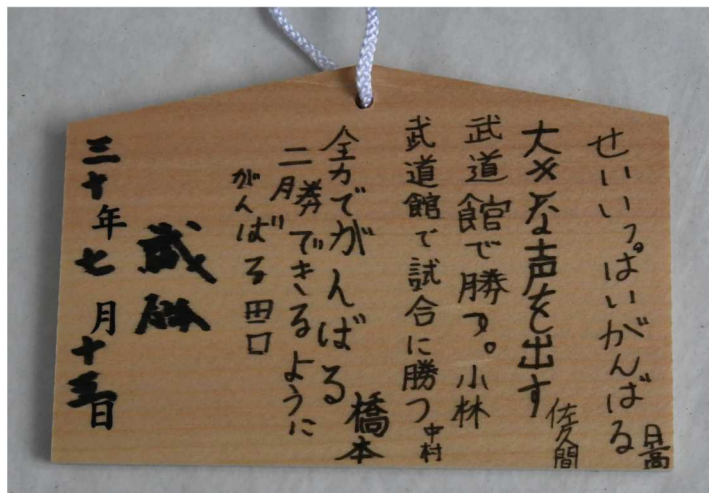
長文になり申し訳ありません。

少し振り返る機会をいただきありがとうございます。

先生方、子供達、父母会の皆さんありがとうございます！！

長いことご苦労様でした。この時期に血が騒ぐようであれば来年もお願いします。

また、暑い中の稽古にもかかわらず、子供たちを見守りいろいろとサポートしてくださったご父母の方々大変ありがとうございます。この場を借りてお礼を申し上げます。



15日 弓道 7月16日 剣道 7月21日,22日 空手道 7月28日 柔道 7月29日 銃剣道 8月1日 少林寺拳法 8月
本武道館、(財)全日本柔道連盟、(財)全日本剣道連盟、(財)全日本弓道連盟、(財)全日本空手道連盟、(財)合気会、(財)少林寺拳法連盟、(財)全日本なぎなた連盟、(財)全日本銃剣道連盟 後援



ギャラリー

おとし
剣友会
たより

発行日

18.8.16

第 443 号

会員数 185 名

武蔵台剣友会



武道館特集号⑨